

有害プランクトン情報 (令和元年度 - No. 12)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 3月 第1回 内湾 (8地点) 3/3 内房 (7地点) 3/4
3月 第2回 内湾 (8地点) 3/17 内房 (7地点) 3/17,18
貝類漁場内 九十九里 3/17 千葉北部 3/17 木更津南部 3/11 富津 3/16

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが 3/17 に船橋で 0.65 細胞/mL, ディノフィシス ロツンダータが 3/3 の盤洲南ほかで 0.05 細胞/mL でした。なおディノフィシス アキュミナータは 10/2 に千葉灯標で 20.55 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 3/3 内湾 珪藻 スケルトネマ属 (図1), キートセロス属
- 3/4 内房 珪藻 キートセロス属, スケルトネマ属, タラシオシラ属
- 3/17 内湾 珪藻 スケルトネマ属, タラシオシラ属
- 3/17,18 内房 珪藻 タラシオシラ属 (図2), キートセロス属, スケルトネマ属

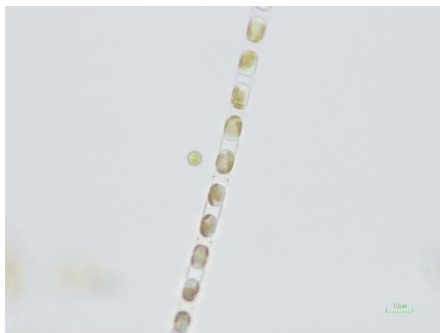


図1 スケルトネマ属 (3/3 羽田沖)

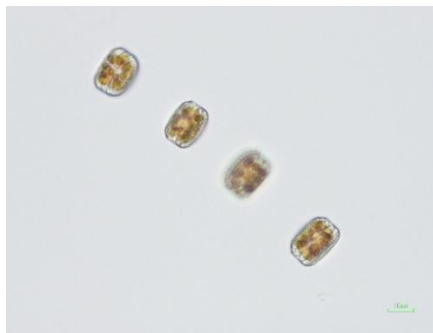
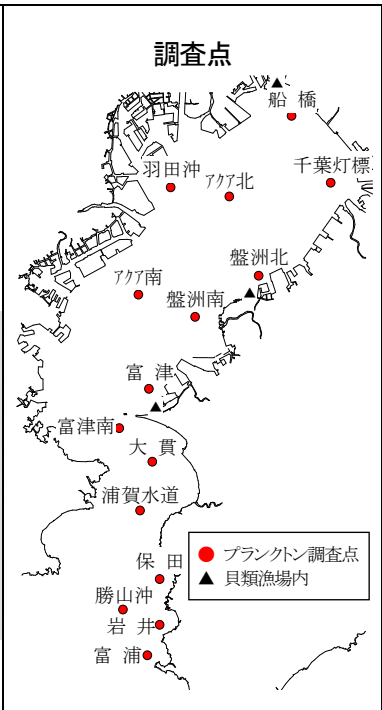


図2 タラシオシラ属 (3/18 大貫)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp